

令和3年度学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>(1)学力向上進学重点校エントリー校、SSH指定校にふさわしい生徒の学習希望や進学希望に応える教育課程の編成</p> <p>(2)学習効果を高めるICT を利活用した教育の開発と提供</p> <p>(3)SSH 教育の推進及び成果の発信</p> <p>(4)グローバル人材の育成</p>	<p>①学力向上進学重点校エントリー校、SSH指定校にふさわしい新学習指導要領に基づく教育課程の編成</p> <p>②ICT を利活用した効果的な教育方法の組織的な開発研究と共有</p> <p>③探究活動の研究開発や成果発表機会拡大及び国内外の教育機関との教育交流の推進</p> <p>④多様な文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、交流の機会を創出し、国際性を培う。また、外部交流を増やす。</p>	<p>①職員研修を通して課題を整理し、カリキュラム・マネジメントの視点に立った教育課程編成作業を進める。併せて授業改善の充実を図り、共有する。</p> <p>②課題の配信・提出、オンライン授業等 ICT 活用法を共有し、授業の質の向上を図る。</p> <p>③生徒の成果発表機会を充実させ、全教員が探究活動支援に積極関与できるように研修を実施する。</p> <p>④探究活動内に英語での表現を取り入れ、国際交流やコンテストなどへの参加で、異文化理解を深め、実践的英語運用能力の向上を図る。</p>	<p>①課題を整理し、SSH指定校・学力向上進学重点校エントリー校に相応しい教育課程編成ができたか。</p> <p>②各教科で目標達成のための具体策を確立し、適切にICT を活用して授業研究に臨めたか。オンラインを用いた課題配信・生徒の意見共有が進んだか。</p> <p>③資格試験やコンテスト等への参加の機会を拡大できたか。</p> <p>④探究活動に英語での活動を取り込めたか。国際交流・異文化理解を進められたか。</p>
2	生徒指導 ・支援	<p>(1)自他を尊重し、多様性を認める社会を担う自立した人材育成</p> <p>(2)文武両道の堅持</p> <p>(3)行事、部活動と学習面の高度な両立を目指す生徒のバランスの取れた学校生活の支援体制の充実と関係機関との連携</p>	<p>①生徒一人ひとりが、自他を敬愛し、礼儀を重んじ、自由と責任を弁えた行動をとれる姿勢や態度を育てる。</p> <p>②学力向上進学重点校エントリー校における学びと行事や部活動等を両立し得る自律力の育成を図る。</p> <p>③校内の教育支援体制強化、支援力向上と共に、外部機関と関係構築する。</p>	<p>①地域との協調を重んじ、マナーと社会性ある行動を身につけるため、通学指導を毎月行う。</p> <p>②生徒の自主性や創造性を尊重し、自ら課題を発見、解決し運営できるように指導する。</p> <p>③心身共に健康的な学校生活が実現できるよう校内外の教育相談機能を活用した支援を行う。支援力を高める研修の実施</p>	<p>①生徒が責任と社会性ある行動を取り、地域からの苦情等が減少したか。</p> <p>②トラブルなく円滑な学校行事、部活動等が行えたか。また、生徒の活動内容満足度が80%以上か。</p> <p>③支援教育校内連絡会を年3回、支援教育相談担当者会を月1回実施し、早期対応できたか。</p>
3	進路指導 ・支援	<p>(1)学力向上進学重点校エントリー校としての難関大学、スーパーグローバル大学等への進学に向けた組織的な進路支援体制の構築と推進</p> <p>(2)高い次元での自己実現を目指す生徒の学びに向かう力・キャリア能力を高めるガイダンスの充実と学習環境の整備</p>	<p>①正確でタイムリーな情報提供及び3年間の成長過程に合わせた多様なキャリア教育の構築と推進。</p> <p>①既存の取組における科学的、論理的な思考力、グローバルな視点の獲得への観点・取組の強化。</p> <p>①教員一人ひとりの進路指導力を高</p>	<p>①探究活動、進路ガイダンス等をおして上級学校等が求める学生像を理解するとともに学際的な興味・関心を喚起する支援を行う。</p> <p>①大学入学共通テストや高大接続に係る研修を実施し情報共有する。</p> <p>①②大学や企業等と連携し、深い知識や高いレベルの技術に</p>	<p>①進路研修会を実施し、生徒一人ひとりのデータ等の蓄積から具体的な進路指導に繋がったか。</p> <p>①ガイダンスや面談指導を適宜実施できたか。</p> <p>②生徒が上級学校等の学問や研究、またグローバル企業等の技術に触れる機会を設けたか。</p> <p>②夏期講習、土曜講</p>

	視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
			める研修等の充実。 ②セルフガイダンス力を高める機会の提供や環境の充実。	触れる機会を提供し、自律的な学習を促す。 ②講習等の学習環境整備と内容の充実を図る。 ②進路に資する資料を提供する。	習の受講者数を増やすことができたか。 ②生徒が必要とする資料を提供できたか。
4	地域等との協働	(1)外部人材の活用やSSHの取組成果等の小中学校等への発信と提供 (2)ホームページによる教育活動、教育成果の発信をはじめとする広報活動の充実 (3)本校教育活動のネットワークの拡大	①生徒による小中学校等への教育提供や外部機関との連携の場の創出 ②ホームページの充実と、迅速で適切な情報提供のための体制の整備 ③地域や同窓会、PTA、等の組織と連携した安全教育・防災教育等の取組の推進 ③学校運営協議会における評価の活用	①成果発表会や科学教室の開催など地域の小・中学生が科学に興味を持てるような事業を行う。 生徒の探究活動やキャリア教育を支援していただける企業・人材を開拓する。 ②学校行事の機会やホームページを用いて中学生とその保護者へスムーズな情報発信を行う。 ③地元自治会やPTAと連携した防災訓練等を実施する。	①参加者アンケートの回答から満足していることがうかがえたか。教育活動を支援していただける企業等を開拓できたか。 ②ホームページにわかりやすい情報提供ができたか。 ③地元自治会やPTAと連携した防災訓練等を実施できたか。
5	学校管理 学校運営	(1)企画会議の機能の拡大による職員の経営参画意識の向上と人材育成 (2)教員が教育に係る時間を確保する働き方改革の推進 (3)計画的・効率的で適正な予算執行と学校環境の整備 (4)事故不祥事防止の徹底	①企画会議と各組織・職員との双方向の情報共有を深め、全職員の学校経営参画意識を高める。 ②ICTの利活用を組織的に推進し、会議や資料作成・配付などの効率化を推進する。 ③外構工事に伴う教育活動及び安全確保を図る。 ④事故防止会議や研修を計画的かつ効果的に実施する。	①企画会議の内容を迅速に職員全体に周知することで課題を共有し、課題に応じた人材招集、意見聴取を行う。 ③外構工事に伴い、授業、行事、部活動等が円滑に行えるよう調整する。	①企画会議を中心にグループ等の連携を図り、喫緊の課題を解決するための組織体制を確立できたか。 ②仕事の効率化が図られたか。 ③各教科、生徒会との協議連携に努めて、工事期間の生徒の活動が安全に行われたか。